

PRSJ NEWS

2025 年 4 月号 No.372



PR 業部会総会の様子開催報告は P13（会員限定）

TOPICS

BULLETIN

P Rプランナー・創発ワークショップ 2025 開催報告

P7

138 名の P Rプランナー誕生、資格取得者は累計 3,635 名

P8



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 山口 恭正

目 次

4 月～5 月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	パブリックリレーションズのビジネス、P R 会社への信頼を高めていくために	P3
ATTENTION(お知らせ)	4 月入会の皆様のご紹介	P4
〃	危機対応緊急記者会見トレーニング開催案内と開催報告	P5
〃	第 37 回 2 次試験 申込み締切り迫る！	P6
BULLETIN(活動報告)	P R プランナー・創発ワークショップ 2025 開催報告	P7
	138 名の P R プランナー誕生、資格取得者は累計 3,635 名	P8
〃	P R と生成 A I 講座と P R アワード受賞事例公開セミナー開催報告	P11
	第 48 回広報ゼミ開催報告（会員限定）	P12
	広報パーソンの魅力向上委員会～キャリア開拓の先駆者に学ぶ #3～	
	第 32 回広報活動研究会「セイコーミュージアム銀座」見学会開催報告（会員限定）	P12
	P R 業部会総会「10 年後の P R 業～ P R ビジネスは生き残れるか」開催報告（会員限定）	P13
〃	P R 業経営者懇談会開催報告（会員限定）	P13
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P14
PLAZA(会員情報)	会員便り	P15
事務局だより		P16

4～5月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴】

PRプランナー1 次試験対策講座	講 師	： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PRプランナー2 次試験対策講座	講 師	： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PRプランナー3 次試験対策講座	講 師	： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名
消費者庁ステマ規制に関するセミナー	期 間	： 4月1日（火）～ 9月30日（火）※申込みから14日間視聴可
	講 師	： 池田・染谷法律事務所 染谷隆明弁護士

【対面】

第53回 PRスキル研究会	日 時	： 4月16日（水） 17:00～18:30（受付開始16:45）
	会 場	： (株)マテリアル
	テーマ	： 社会課題に“PR”はどのように向き合えるのか？ アワード受賞事業会社 & P R会社、双方のホンネを探る！
	講 師	： 事業会社：ディップ(株) マーケティング統括部 ブランド戦略部 堤 花野氏 PR会社：(株)マテリアル ブランドプロデュース3局 PRプランナー／プロデューサー 菅野 瑞樹氏 Moderator：(株)電通PRコンサルティング 企業広報戦略研究所 所長 阪井完二氏
パブリックリレーションズ入門講座 2025	日 時	： 4月21日（月）～23日（水） 10:00～17:00※最終日のみ17:20まで
	テーマ	： 新任広報担当者向け！第一線の現場で活躍するメディアや各分野のプロフェッショナルからP Rの基礎を学ぶ集中講座
	講 師	： (株)博報堂 執行役員／(株)博報堂ケトル ファウンダー 嶋 浩一郎氏他
	会 場	： 富士ソフトアキバプラザ 5F
〈関西委員会主催〉第295回定例会	日 時	： 5月23日（金） 16:30～20:30（受付集合16:00）
	テーマ	： 「グラングリーン大阪の魅力に迫る」＜アートの新拠点「VS.」での展覧会の鑑賞も＞
	講 師	： 一般社団法人うめきたMMO副事務局長 藪内文彦氏
	会 場	： グラングリーン大阪（大阪北区大深町）
【ハイブリッド開催】 国際セミナー	日 時	： 4月24日（木） 17:30～（会場オープン17:00、サイトオープン17:20）
	会 場	： リンクトイン・ジャパン及びオンラインZoomミーティング
	テーマ	： 広報PRプロフェッショナルがAI時代に備えるべきスキルとコミュニケーション
	講 師	： リンクトイン・ジャパン(株)日本代表 田中若菜氏

4月～5月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(4月度)	日 時	: 4月10日(木)	16:00～17:30
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
	(5月度)	日 時	: 5月8日(木)	16:00～17:30
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(4月度)	日 時	: 4月17日(木)	16:00～17:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(4月度)	日 時	: 4月24日(火)	14:00～15:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇国際・交流委員会	(4月度)	日 時	: 4月4日(金)	15:30～16:30
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇広報委員会	(4月度)	日 時	: 4月24日(木)	16:00～17:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇顕彰委員会	(4月度)	日 時	: 4月17日(木)	15:00～16:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(4月度)	日 時	: 4月2日(水)	17:00～18:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR 業部会幹事会	(4月度)	日 時	: 4月15日(水)	16:00～17:00
		会 場	: 事務局+オンライン開催	

パブリックリレーションズのビジネス、 PR会社への信頼を高めていくために



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
副理事長 江良 俊郎
(株式会社エイレックス 代表取締役)

今期の通常総会を経て、前期に続き副理事長およびPR業部会長を拝命いたしました。引き続き、パブリックリレーションズ関連ビジネスの健全な躍進、PRSJの発展に向け、微力ながら尽力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

さて、昨今「PR会社」の存在がネガティブな形で報道されたり、SNSで話題になったりする事例が続きました。旧ジャニーズ事務所の記者会見でPR会社がNGリストを作成したとされる問題や兵庫県知事選挙でPR会社の関与が公職選挙法違反の疑いを招いている問題は、いずれも当協会の非会員企業とはいえ、「PR会社」としてひとくくりにされて報道されております。

このようなことから、「PR会社」もしくは「PR業」に対して、実態をよくご存じない方々は誤解をされていたり、なんとなく「暗躍」しているような印象を持たれたりしているのではないかと危惧しております。

当協会は、2016年に倫理綱領を制定し、「常に倫理の向上に努め社会からの信頼にこたえ」「公共の利益と基本的人権の尊重」「公正、正確、透明性の原則」「中立性、公平性の保持」などを掲げております。また、2019年には行動基準にあたる「PR活動ガイドライン」を設け、PR業の健全な発展に努めているところです。しかしながら、PRビジネスにおいても環境変化はすさまじく、ビジネスと人権に関する考え方やステマ規制、AIへの向き合い方や扱い方など、新たに協会としての指針を示した方がよいと思われるテーマが山積しております。これらのテーマについては、この度、PR業部会が中心になってガイドラインの見直し・改訂を図っていくこととしております。

パブリックリレーションズに携わる皆さんには言うまでもないことですが、ビジネスにおいても組織・個人においても、社会からの信頼が極めて重要です。パブリックリレーションズ関連ビジネスの健全な躍進、PRSJの発展においても、社会からの信頼はその基盤となるべきものだと思いますが、とりわけPR会社様におかれましてはこの機に改めて、携わる広報活動が公益に資するのか、ビジネスの透明性や誠実さ、守秘義務や情報管理に問題がないか、などについて、PRSJの倫理綱領をベースに点検していただければと思います。

PR業部会といたしましても、今後より一層、「PR業」「PR会社」の存在意義や使命・役割の重要性を訴えていくとともに、当協会会員社がいかに倫理的行動を大事にしているか、社会からの信頼を重要と考えているか、について世間への周知をはかり、業界を代表する公益社団法人としてより一層の地位向上に努めたいと考えております。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、4月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

株式会社リズク



株式会社リズク代表の國枝と申します。

弊社は「PR デザインファーム」として、PR の視点からウェブサイトの分析、オウンドメディアの企画・制作、デジタルコミュニケーション全般のサポートを行っております。食品、外食、医療、大学、メディアなど、多岐にわたる業種のクライアントとお取引をさせていただいております。

社会やテクノロジーが日々変化する中で、PR が向き合うべき課題は増すばかりです。PR が担える役割を少しでも広げられるよう、微力ながら貢献できればと考え、今回 PRSJ に正会員として入会いたしました。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

次回は5月開催！ 本番さながらの緊張感で学ぶ危機対応 緊急記者会見トレーニング 開催報告とご案内

教育委員会

■3月緊急記者会見トレーニング開催報告

2025年3月12日（水）に開催された「緊急記者会見トレーニング」では、企業が不祥事や不測の事態に直面した際に求められる広報対応力を養うことを目的に、模擬記者会見を取り入れた実践的なトレーニングが行われました。

講師には、元テレビ局報道記者であり現在は西村あさひ法律事務所・外国法共同事業のパートナー弁護士である鈴木悠介氏を迎え、報道現場の視点と法的知見の両面から、危機管理広報における基本対応や記者会見での留意点、メディア対応の実践について具体的かつリアルな内容が展開されました。

トレーニングでは、参加者が実際に登壇者や広報担当として模擬会見に臨み、記者役からの厳しい質問に応じるシーンも盛り込まれ、まさに「本番さながら」の緊張感を体験できる機会となりました。参加者からは「実践的で学びが深い」「実際の現場に備えるよい訓練になった」といった好評の声が多数寄せられました。



■次回緊急記者会見トレーニング開催概要

回次の「緊急記者会見トレーニング」は、2025年5月27日（火）13:00～17:00に開催いたします。内容は前回同様、危機管理広報の基本対応に関する講義と、記者会見を想定したシミュレーション形式のトレーニングで構成されており、理論と実践の両面から対応力を強化できるプログラムとなっています。

講師には引き続き鈴木悠介氏を迎え、法律実務の視点を踏まえつつ、メディア対応の現場感覚を生かした実践的な内容を提供します。定員は16名で、少人数ならではのきめ細かな指導とフィードバックを受けられる点も特徴です。

お申し込み方法など詳細については、協会 Web サイトよりお知らせいたします。危機対応能力を高める貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください。

不測の事態において組織の信頼を守るために不可欠な「伝える力」を実践的に磨けるこの講座、ぜひご参加ください。

■講師プロフィール



西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 鈴木 悠介氏

2007年東京大学法学部卒業後、TBS テレビに入社。外信部、社会部等での報道記者としての勤務を経て、現在は、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業にて、法務・コンプライアンス部門だけでなく、広報部門とも戦略的に協働しながら、国内外での企業不祥事対応や訴訟案件等に従事。また、有事対応にとどまらず、組織風土・役職員の意識改革も含めた再発防止策の実践も数多くサポート。2013年 第二東京弁護士会 弁護士登録。2014年公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 正会員登録、2020年 早稲田大学商学部 招聘講師、2022年 慶應義塾大学法科大学院 非常勤講師

<https://www.nishimura.com/ja/people/yusuke-suzuki>

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第37回2次試験 申込み締切り迫る！

仮申込みは4月25日（金）まで

－試験期間は、5月10日（土）～18日（日）－

資格委員会

2025年度前期（第37回）2次試験の受験に必要な仮申込みは4月25日（金）が締切りです。試験はCBT方式で、試験期間は5月10日（土）～5月18日（日）の9日間で実施します。

2次試験には1次試験合格者（12,768名）の半数以上（6,638名）が合格しております。

2次試験の受験勉強により、1次試験で学んだ広報・PRの基礎知識の復習に加え、広報・PR実務に関する専門知識が履修できます。この機会に、ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第37回2次試験 実施概要】

試験期間	2025年5月10日（土）～5月18日（日）
仮申込み期間	2025年4月25日（金）23:59まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2025年5月2日（金）23:59まで ※CBTS Web サイトでの本申込みとなります。（受験日時・会場選択、受験料のお支払い） ※CBT方式のPRプランナー試験を初めて受験する方のみ、CBTS Web サイトにユーザー登録が必要となります。
可否発表	2025年5月28日（水）正午
受験資格	1次試験合格者（1次試験に合格されていれば、PRプランナー補の資格を取得していない方も受験できます。）
試験科目	科目A：企業経営と広報・PRに関する知識 科目B：マーケティングと広報・PRに関する知識 科目C：コミュニケーションと広報・PRに関する実務知識 科目D：時事問題（今回の出題範囲は、2024年4月～2024年9月末までの6ヵ月となります。）
試験時間	科目A+B 80分、トイレ休憩をはさみ 科目C+D 80分
試験出題数	各科目25問、全100問
合格基準	全出題数に対して正答率65%以上、かつ各科目の正答率がいずれも50%以上で合格とします。 （全出題数に対して正答率65%未満の場合、もしくは1科目でも正答率50%未満の場合は不合格となります。）
対応公式テキスト	広報・PR実践（2024～2025年度版）

試験スケジュール等、詳細につきましては、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



～PRプロフェッショナルのあるべき姿を考え、PRプランナーの交流を広げる1日～

PRプランナー・創発ワークショップ 2025

－PRプランナー新規取得者を対象に、3部構成で開催－

資格委員会

PRプランナー資格の新規取得者を対象に、目指すべきPRプロフェッショナル像とPRプランナーとしてのキャリア形成について考え、話し合う機会として「PRプランナー・創発ワークショップ 2025」を3月14日（金）に開催しました。

第1部では“PRプロフェッショナルへの期待”をテーマに、企業コミュニケーションの現場で長年の経験を有し、PRプランナー取得者でもある、NTTコミュニケーションズ(株)ヒューマンリソース部サステナビリティ推進室 田畑 好崇氏（PRプランナー資格委員会・委員）に、これからのPRプロフェッショナルに求められるナレッジ、スキル、キャリア等についてお話いただきました。

参加者からは、「広報部門以外でもPRプランナーとして活躍できる場は多いと感じた」「広報が、『社会的に望ましい関係を構築・維持する経営機能』であることを知り、身が引き締まった」など感想が寄せられました。



第2部“自らが目指す「PRプロフェッショナル像」を考え、共有する創発ワークショップ”では、コア・エリート(株)代表取締役社長でPRプランナーでもある丸山 寛之氏をファシリテーターに、PRプランナーとして「ありたい姿」「今後、取り組みたいこと」を7つのグループに分かれワールドカフェ形式で行いました。活発なコメントが交わされ、「もっと意見を交わしたかった」「有意義な時間だった」など、みなさん次回の参加への意欲を口にされていました。



第3部は会社や業界の枠を越えた相互の情報交換・親睦を目的とした“立食形式の交流会”となり、ワークショップでは話し足らなかった悩みや、解決のヒントなど、参加者全員で絶え間なく歓談が行われ、18時からのイベントは、あっという間に終了しました。

ご参加いただいた皆様、ご登壇された皆様をはじめ、ワールドカフェ形式でグループオーナーを勤められたPRプランナーの皆様や、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

PRプランナー資格認定制度／検定試験

138名のPRプランナー誕生、資格取得者は累計3,635名

資格委員会

2007年より実施しているPRプランナー資格制度も今年で18年目となり、今回の認定によってPRプランナー取得者は3,635名となりました。PRプランナー資格検定試験では、1次試験が12,768名、2次試験は6,638名、3次試験は3,742名が合格し、各方面で活躍しております。

今年1月に実施されたPRプランナー資格認定検定試験／3次試験では、合格者のうち138名が、3月に行われた書類審査を経て、PRプランナーの資格を取得されました。

長期間にわたるご奮闘に敬意と祝意を表して、ご氏名等を公表させていただきますとともに、今後のさらなるご研鑽とご活躍を期待いたします。

2024年度後期（第37回） PRSJ認定PRプランナー（50音順／敬称略）

◇個人名、所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

伊藤 淳奈 (株)横浜国際平和会議場
 今西 幸希 (一社)プロティアン・キャリア協会
 伊牟田 孝弘 その他
 岩田 裕介 医療法人偕行会
 大川原 佳奈 (株)PR TIMES
 大沢 美波 レバテック(株)
 大場 芙美香 第一三共(株)
 岡本 沙織 学校法人片柳学園
 奥田 裕樹 (株)フジミインコーポレーテッド
 小保方 薫 (株)ブルボン
 門井 莉菜 アドソル日進(株)
 加藤 慎矢 (株)スコープ
 加納 周治 いすゞ自動車(株)
 神山 柚香 ケンコーマヨネーズ(株)
 河村 康孝 河村中小企業診断士事務所
 木村 あすな ハッピーPR(株)
 京谷 和央 (株)アールビーズ
 幸島 美穂 JCOM(株)
 近藤 真生 (株)baton
 島袋 綾 (株)サンギ
 瀬川 美歩 シンプレクス・ホールディングス(株)
 関根 万紀子 日本電信電話(株)
 高橋 謙太 狭山市
 高橋 潤 (株)テクノスジャパン
 高橋 正興 LINE ヤフー(株)
 立石 晋也 (株)SPORTS Edge
 田中 力 前橋市
 寺田 雄人 西日本電信電話(株)
 徳 千遥 (株)トークス
 内藤 あい (株)熊谷組

内藤 陽介 (株)電通 PR コンサルティング
 内藤 愛純 マルホ(株)
 西谷 亜紅 (株)マテリアル
 祢津 育実 (株)ベルテクス・パートナーズ
 野澤 菜々子 (株)グランビスタ ホテル&リゾート
 廣岡 祐次 (株)ハイド&ルーク
 福田 大也 ショーボンド建設(株)
 藤村 侑加 PReA(株)
 牧 瑤子 D4V 合同会社
 三辻 優作 中日本高速道路(株)
 茂木 華奈子 (株)ネタもと
 森田 遥 東急電鉄(株)
 山川 貴広 (株)バンダイナムコフィルムワークス
 山田 有紀子 (株)一家ホールディングス
 山中 亨太 (株)公文教育研究会
 横井 真理子 フェニックス・コンタクト(株)
 吉岡 あや音 宝ホールディングス(株)
 葭谷 隼人 鴻池運輸(株)
 米田 昂平 (株)すかいらくホールディングス
 羅 彩 アマノ(株)
 渡邊 直之 慶應義塾大学
 渡部 しのぶ (株)チームスピリット

◇個人名、所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

石原 邦雄 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 上崎 緋沙子 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 上野 菜摘 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 大橋 秀喜 PR 関連会社
 岡村 真歩 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 柏木 宏紀 PR 関連会社
 菊池 まこ その他
 木村 静 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 佐藤 絢子 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 佐藤 勝彦 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 竹下 諭 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 土井 万寿美 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 中川 広 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 羽田 真大 一般企業 (広報・PR 関連部署)
 南 真澄 一般企業 (その他の部署)
 渡邊 奈緒 一般企業 (広報・PR 関連部署)

◇所属団体・企業名で掲載了承をいただきました方

女性 旭化成ホームズ(株)
 男性 アース製薬(株)
 女性 沖電気工業(株)
 男性 KDDI(株)
 男性 サッポロビール(株)
 男性 昭和産業(株)

男性 ソフトバンク(株)
男性 大成建設(株)
女性 (株)長大
男性 (株)D2C R
男性 (株)電通
男性 (株)トモノカイ
女性 (株)ドリーム・アーツ
女性 ドルビックスコンサルティング(株)
男性 西日本電信電話(株)
女性 (株)ネタもと
女性 (株)バイク王&カンパニー
男性 文部科学省

◇所属団体・企業種別で掲載了承をいただきました方

P R 関連会社 … 女性 1 名
一般企業(広報・P R 関連部署) … 男性 3 名、女性 10 名
各種団体 … 男性 1 名

※上記P Rプランナーの皆様には事前に掲載の承諾を得ております。

教育委員会主催セミナー開催報告

PRと生成AI講座とPRアワード受賞事例公開セミナー

教育委員会

■PRアワード受賞事例に学ぶ「伝える力」と現場の工夫

タイトル：PRアワード受賞事例公開セミナー

開催日：2025年3月10日（月）

登壇者：本田 哲也 氏（PRアワードグランプリ 2024 審査委員長）各受賞プロジェクト推進メンバー

本セミナーでは、2024 年度「PRアワードグランプリ」受賞プロジェクトの代表者が登壇し、実践現場での工夫や課題をリアルに語りました。ヤマハの「だれでも第九」や、メルカリによる「ウチの実家」など、創意あふれる取り組みに参加者は熱心に耳を傾けました。審査委員長の本田哲也氏による総評では、PRの潮流や今後求められる視点についての示唆があり、実務に直結する学びが満載でした。

現場から生まれた成功のヒントを、次はあなたのPR活動に！次回開催もぜひご期待ください。



■生成AI 講座開催報告

タイトル：生成AI時代の広報戦略-実務で活かす最新ツールと活用術

開催日：2025年3月18日（火）

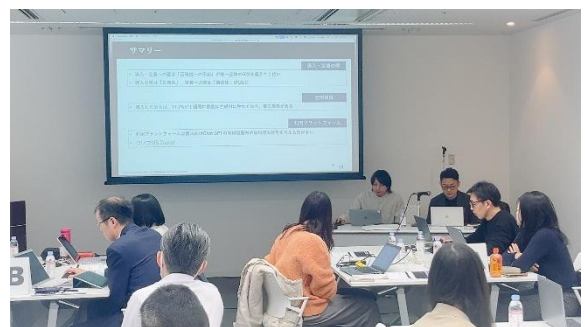
登壇者：野中 透氏（プラップノード株式会社 マーケティングディレクター）

桃井 克典氏（プラップノード株式会社 マーケティングエキスパート）

本講座では、生成AIを広報業務にどう応用できるかを、具体的なツールや事例を交えて紹介されました。前半は、情報収集や企画立案の方法を実例とともに解説。

後半は ChatGPT などを使った実演ワークショップが行われ、参加者は実践的な使い方を体感しました。中堅～大手企業を中心に、コピー作成や記事要約などで生成AIの活用が広がっている一方、正確性や知財への配慮など課題も共有されました。広報特化型 GPT の作成にも触れられ、AIを味方につけるヒントが満載の講座でした。

次回の開催もどうぞお見逃しなく！



（事務局 森野 亮）

【会員限定】

第 48 回広報ゼミ(1 月 28 日)開催報告
広報パーソンの魅力向上委員会
～キャリア開拓の先駆者に学ぶ #3～

企業部会

第 48 回目の開催となった企業部会広報ゼミは、「広報パーソンの魅力向上」をテーマに、1 月 28 日、オフラインとオンラインのハイブリッド形式で開催し、計 64 名の皆さまにご参加いただきました。

第 32 回広報活動研究会(3月7日)開催報告
「セイコーミュージアム銀座」見学会

企業部会

企業部会では、会員企業の広報活動(機能、組織、運営体制など)を実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

今回は、24 名の会員が参加して、「セイコーミュージアム銀座」を訪問しました。

【会員限定】

PR業部会総会開催 2月27日開催報告

「10年後のPR業～PRビジネスは生き残れるか」

PR業部会

2025年2月27日、PR業の現在と未来を共に考え、業界全体の成長を目指す場として「PR業部会総会」を開催いたしました。

本イベントでは、PR業に携わる部長・マネージャークラスの現場責任者を中心に、パネルディスカッションを通じて業界の課題や未来像について議論するとともに、参加者同士の交流を深める懇親会も実施しました。

PR業経営者懇談会 開催報告

**「広報」と「マーケティング」の新定義に多くの共通点
“持続可能な関係性”がカギ**

日本マーケティング協会・福島理事と日本広報学会・柴山理事長が

熱いクロストークを展開！

PR業部会

2025年3月6日、「PR業経営者懇談会」を六本木・国際文化会館で開催。PR業部会所属の正会員社から経営層の方々が20名参加され、会食と交流を行いました。

冒頭の基調講演では、日本マーケティング協会の福島常浩理事から昨年発表された新たなマーケティングの定義について解説をいただき、その後、日本広報学会の柴山慎一理事長（当協会理事）にも登壇いただいて、両者の定義とその反響、今後の協力などについて率直な意見交換をしていただきました。

協会掲載記事

● 4月1日(火)『月刊広報会議』(宣伝会議)5月号

『月刊広報会議』2025年5月号における当協会の連載コラムで、PRプランナー資格取得者へのインタビューが掲載されました。

コラムでは、2025年にPRプランナー資格3次試験に合格された、LINE ヤフー(株) コーポレートコミュニケーション統括本部 PR本部 コーポレートPR部の山口純平氏へのインタビューを掲載。試験を通じた学びや所感について語っていただいております。

また、PRプランナー資格取得者が3,600人を突破したことについても紹介されております。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■ 会員便り

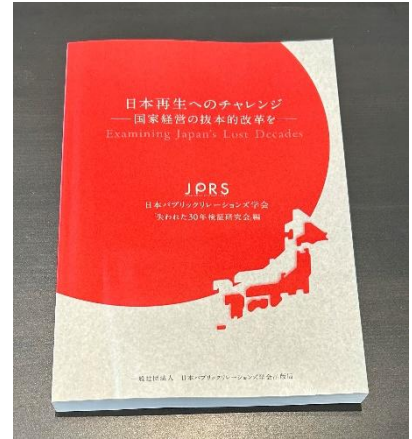
このページは会員の皆様から寄せられた情報をお伝えしております。会員の皆様のページとしてパブリックリレーションズに関する様々な情報をお寄せください。

※内容によって掲載についてご相談させていただく場合があります。

(株)井之上パブリックリレーションズ様より書籍のご紹介

『日本再生へのチャレンジ～国家経営の抜本的改革を～』

一般社団法人日本パブリックリレーションズ学会（井之上喬代表理事、株式会社井之上パブリックリレーションズ代表取締役会長兼CEO）は、同学会の「失われた30年検証研究会」が取りまとめた報告・提言集『日本再生へのチャレンジ～国家経営の抜本的改革を～』を2024年12月に発刊しました。本書は、日本の国際競争力が低下した30年間を検証し、日本が再び世界の主役となるための道筋を示すものです。



この研究会は、日本パブリックリレーションズ学会が2022年6月に設置し、井之上喬氏を座長に、関口和一氏（MM総研代表取締役社長、元日経新聞論説委員）をチーフリサーチャーとして運営されてきました。

研究会には、主要マスメディア各社から政治・経済・社会・国際・科学技術などさまざまな分野をカバーする論説委員、編集委員、デスクら約20名が参加。2022年6月から2024年6月までの間に、各分野の政策責任者、学者、専門家など42名を講演者として招き、日本の競争力低下の原因と再生への道筋について議論を重ねてきました。

講演者には、伊藤元重氏（東京大学名誉教授）、中曾宏氏元日本銀行副総裁）、黒川清氏（元日本学術会議会長）、千本倖生氏（KDDI共同創業者）、白川方明氏（元日本銀行総裁）、野田佳彦氏（元内閣総理大臣）、石破茂氏（現首相、当時衆議院議員）など、政官学民の各界を代表する識者が名を連ねています。

井之上座長は「政策や情報は国から国民へと一方的に伝えられがちで、それが障壁になったことも全体的に強く感じた」と指摘し、政策の推進側が一般市民や関連する人・組織にどう働きかけてきたかという視点で原因と処方箋を探ったと述べています。

本書では、少子化対策、デジタル化促進、教育改革、多様性推進など、多岐にわたる改革案が盛り込まれています。39人分の講演内容を収録した本提言書は、衆・参両議院、47都道府県知事、県庁所在地の市長、主要大学およびシンクタンクそして図書館など約1,300箇所無料配布されました。

この報告・提言集の発刊はゴールではなく、これからが本番です。今後は提言内容の実現に向けて、立場や党派を超えた政策立案者の連携を促進し、国や地方自治体、産業界、学術機関などとの協力体制を構築するための取り組みが始まります。具体的なアクションプランを伴った国家的プロジェクトへと発展させるための準備が、パブリックリレーションズの手法で現在進められています。

なお、本書は非売品ですが、近日中にオンデマンド印刷や電子出版（いずれも有料）が予定されています。日本の次の30年に向けた新たな挑戦の道標として、多くの方々にお読みいただければ幸いです。皆様の当学会へのご入会をお待ちしております。

（文責：日本パブリックリレーションズ学会事務局）



事務局の青田です。

2025 年度がスタートしました！

いきなり言うのもナンですが、個人的に思っていることは、「昨年是天災の年、今年是人災の年」になりそうということです。イヤな話ですいません。

人災のほとんどはコミュニケーション不足、合意形成の機能不全に起因しているのではないのでしょうか。

パブリックリレーションズがしっかりと機能する社会にしたい、と今こそ思います。

PRSJ の役割はとても重いですね。

■ 東京都の動画で PR と PR プランナー資格をアピールしました

東京都がビジネスマンのリスキリング、キャリア開発支援を目的とした動画を公開しています。

この「東京リカレントナビ」の「広報・PR」パートの講師を依頼され、3 月に収録、4 月から公開されていますので、一度ご覧いただければと思います。

<https://www.recurrent-navi.metro.tokyo.lg.jp/news/146513>

初級、中級、上級の 3 編あり、それぞれ 20 分強です。

初級では PR の正しい概念を、中級では PR の仕事のレンジの広さとやりがいを、上級では経営必須の機能としての PR をお話ししています。

収録の現場にいた東京都の担当者や毎日映画社のスタッフ、MC の竹内さんから「いままで全く誤解していた。目から鱗だ」と言っていただき、早速、広報・PR の仕事につくにはどうすればよいのかと質問までされました（笑）。

結構な手応えがありましたので、この動画を活用していければと考えています。

■ 4 月から「関西部会」が「関西委員会」としてリスタート

関西部会が関西委員会になりました。

改編の目的は、関西部会に所属する会員（正会員）のみなさまが企業部会と PR 業部会に本籍を移すことによって、両部会の活動に正当に参加できるようにすること。また、これまでの関西エリアでの活動も、現在の幹事のみなさんをそのままスライドして継続実施できるようにすること、の 2 つです。

このタイミングで新たに幹事（4 月からは委員）になられた方々もいらっしやって、非常にフレッシュな委員会になったように思います。

会員のみなさまのご協力、関西でのイベントへのご参加などを是非、お願いします。

以上

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F